

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● 木質バイオマスエネルギー利用施設の勉強会を開催しました

木質バイオマスエネルギー利用ワーキンググループでは、地産地消型の木質バイオマスエネルギーの利活用を推進するため、去る1月26日（金）に今年度県内に導入された2つの施設を視察する勉強会を開催しました。

1つ目は高山市荘川町にある「ひだ荘川温泉桜香の湯」に併設されたドイツ製の木質チップボイラーです。同市内の工務店が製材過程で発生する端材をチップにして、年間416tを燃料としてボイラーで燃やして温浴施設に熱を販売する計画のものです。

2つ目は高山市国府町にある「宇津江四十八滝温泉しぶきの湯」に併設されたドイツ製の熱電併給施設です。同市内で製造される木質ペレットを年間850t購入し、ガス化・発電して電力会社に売電するとともに、発生する熱を温浴施設に販売する計画のものです。

勉強会当日は雪の舞うあいにくの天気でしたが、約20人の会員が参加し、灰の処理や、機械のメンテナンスの課題など、熱心に質疑が交わされました。当ワーキンググループでは今後もこういった勉強会を開催しますので、興味のある方は是非ご参加ください。



● 気象観測等支援システム「Paddy Watch」を譲り受けました

1月29日（月）にコンソーシアム特別会員の大和リース株式会社様から「Paddy Watch」（パディウォッチ）30基をコンソーシアムに寄附していただきました。

この「パディウォッチ」は、センサ機能とドコモの回線を利用する通信機能を搭載しており、①水位、②水温、③気温、④湿度を10分毎に計測し、1時間毎にクラウドサーバに送信・記録します。クラウドサーバに記録された情報は専用のアプリケーションを介して、スマートフォンなどで各計測値の状況を確認することができます。

コンソーシアムでは、この機器を会員に無料（※アプリケーション利用料1,980円/月（税別）が別途必要。）で貸し出し、森林・林業分野などでの活用の可能性を調査します。

森林文化アカデミーの教員が研究活動の一環で使用することを検討していますが、会員の皆様の中でも、この機器を使用してみたいというご希望がありましたら、お気軽に事務局までご連絡ください。



写真元：http://hokuren-news.jp/news_detail?id=155



コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.consortium@gmail.com